



隣の薬剤部・薬局

鹿児島医療生活協同組合
総合病院

鹿児島生協病院薬剤部



中村 伸也 薬局長

—病院の特徴や理念をお聞かせください

当院は138,452名(2019年4月時点)もの組合員が出資・運営している鹿児島医療生活協同組合によって設立され、「人権を尊重し、安全で信頼される医療を地域の人々とともにすすめます」という理念のもと、地域の現状を見つめ、患者さんの立場に立った医療を進めるため、医療生協の組合員と力を合わせ、地域の中核病院として信頼される病院づくりと安心して暮らせる明るいまちづくりをめざしています。

鹿児島医療生協としては鹿児島南部地区を診療圏としている当院を含め3つの病院、8つの診療所、4つの訪問看護ステーション、4つのヘルパーステーションなどがあります。「いのちは平等である」という考えから、差額ベッド料はありません。さらに生活困難な方が経済的な理由で必要な医療を受ける機会が制限されることのないよう、診療費一部負担金の全額または一部が免除される無料低額診療事業を行っています。

—薬剤部の方針をお聞かせください

薬剤部は「患者のQOLを改善・維持するために、明確な成果・結果が得られるように責任をもって薬物療法にかかわり良質な医療の提供に貢献する」という理念と、医療活動および経営活動への貢献、人材育成、社会保障の充実を方針として掲げています。なかでも、最も重視しているのは、人材育成です。私自身は最初に当院に入職後、鹿児島医療生協内の病院を異動して回り、再び2019年4月から当院の責任者として赴任しました。私の最大の使命は「スタッフを社会人として通用する人材(社会人基礎力の高い人材)に育てる」ことです。この使命を果たすことが、スタッフ自身のさらなる成長につながる

と同時に、医療活動や経営活動などに対し、薬剤部としての最大限の貢献につながると確信しています。

また、鹿児島医療生協は全日本民主医療機関連合会(民医連)に加盟しています。民医連の病院薬剤師に対する政策のなかには次のような言葉があります。

「医療人としての薬剤師が対応するのは生身の人間である。医療薬学・臨床薬学で身に付けた知識は生身の人間に対応してはじめて活かされるものである。それは患者さんがどのような生活環境で暮らしているかの認識めきには成功しない。疾病はその社会的背景と共に把握することにより、はじめて正しく把握することが可能になるし、治療の過程でもその認識は重要である。特に医療保険制度がどうなっているのか、その人がどのような暮らしをしているかの認識めきで、薬物療法は成功しない。そうした意味で『よき薬剤師』である前に『よき医療人』であることが必要であり、そのことは患者の立場に立てる豊かな人間性を備えていなければ『よき医療人』になれないことを意味している。社会の動き、政治の動向に関心を持ち、国民がどんな状況にあるのかの認識を基礎に、個別の患者を疾病だけでなく、『くらし』を含めてまるごと把握することが大切である」。

私はこの言葉に非常に感銘を受け、日々の業務のなかでの経験を通して、スタッフにこの考えを心に根づかせるような育成に取り組んでいます。

—地域を大切にし地域に根ざした活動も活発と伺いました

地域に根ざした活動は医療生協の中心となるものです。「地域まるごと健康づくり」をキーワードに、医療生協の組合員は「医療・介護・福祉」、「平和」や「環境」など、「いのち」や「くらし」に関わることに関心を持ち、学習し、生活の向上をめざして取り組んでいます。薬剤師は組合員が集まる各地域の会(班会)で薬やサプリメント、病気の話などをして、健康づくりをサポートしています。地域の人たちとの交流は私たち薬剤師にとって、良い刺激になっています。

未来の星に聞く!



上田 智之 さん
(5年目*)

—入職した理由をお聞かせください

最初に病院と薬局のどちらにするか悩みましたが、実務実習を経験して、病院であればいろいろな疾患を勉強でき、また、注射薬と内服薬

の両方を扱えるのも利点だと思いました。そして、病院探しをするなかで、こちらに見学に来て、急性期も慢性期も対応し幅広い診療科があり、福利厚生や労働環境もしっかりしている印象をもったことがきっかけになりました。

—実際に入職されていかがでしたか

最初はとにかく業務内容を覚えることに一生懸命でしたが、いろいろな経験をさせても

らうことができ、忙しくも、とても勉強になったと思います。

入職後は、まず調剤業務を3~4カ月くらい担当しました。その後、病棟へ配属され、最初に担当したのは化学療法を行う病棟でした。抗がん剤を使う患者さんと接する機会を最初にいただき、薬剤師として大きな勉強になったと感じています。がん患者さんは、段々と体調が悪くなり、その様子を見るのは辛さ



無菌調製室での作業風景。

薬剤師のみなさん（取材当日、薬剤部内ののみ）。

一人材育成の研修が充実していると伺いました

教える側と教えられる側、その双方が成長を実感しながら、共に学ぶ『共育』を合言葉に「育み育まれる職場づくり」をめざしています。その1つとして入社後の研修では、教育担当として2～3年目の薬剤師を充てています。新人薬剤師は経験年数の近い先輩だと話しかけやすく、職場に溶け込みやすくなります。一方、教育担当の薬剤師には、新人を通して、これまでの自分を客観的に振り返るきっかけや仕事の内容、意義を自分の言葉で伝え、新人が理解してくれるためには、論理的な思考、表現が必要であることの気づきを期待しています。薬剤部全体では毎週金曜の昼休みに医薬品の学習会を開催しています。その際、例えば、輸液関連、肺がん関連といった毎月のテーマを決めて、受動的な学習にならないように1週間前に資料を配布し、読み込んだうえで参加してもらっています。その他、主体性を育む取組みとして、業務とは別に2つのグループを作りました。それぞれのグループにはリーダー、サブリーダーを置き、研究テーマを設定して自主的に活動しています。

また、民医連には「生活と労働の視点から疾病を捉える」という考え方が根づいており、社会的困難事例などから学ぶことも多いです。社会にはさまざまな境遇の方がおり、例えば、インスリンを使用している患者さんに対して、未開封のインスリンは冷蔵庫に保存するようにと薬剤師は説明します。しかし、その患者さんに「冷蔵庫がない人はどうしたらいいんですか」と質問されたらどうしますか？あるいは、抗がん剤を服用している患者さんから「私はがんと共存して人生を全うしたいんです」と言われたらどうするとよいのでしょうか？

このように、私たちの人材育成は専門職としての技術習得に

とどまることなく、日常の業務そのものが研修の場であり、日々の経験を通して患者さんの立場に立てる豊かな人間性を持った人材として成長させていくことを大切にしています。

一民医連の病院との交流会、研修会があると伺いました

民医連では病院と保険薬局合わせて約2,500人の薬剤師がおり、民医連綱領を薬剤分野で実践しています。私は九州・沖縄ブロックの代表として全日本民医連の薬剤委員を務めています。毎年5月に民医連の病院と薬局の新卒薬剤師を集めた集合研修も主な企画の1つです。「全国組織であるスケールメリットを活かした新卒薬剤師の交流を深める」、「日本の歴史や情勢について学び、考える契機とする」、「民医連薬剤師像についてのイメージを豊かにする」ことを目的に開催し、2019年は100人を超える人が集まり、全国の病院・薬局薬剤師が交流しつながりができています。九州・沖縄ブロックでも毎年8月に薬学生や若手薬剤師を対象とした薬学夏の学校を各県持ち回りで開催しています。この企画は薬学生と若手薬剤師の交流の場とし、民医連薬剤活動について学び理解を深めることや企画・運営自体を若手・中堅薬剤師に任せることで主体的に活動できる人材を育成する機会としています。職場に新人1人だけ、同僚がいない、といった人もいるため、全国の仲間とつながりを実感し、参加したみんなの目が生き活きしてくるのがわかります。その他、民医連では医療安全や学術交流など多職種が参加する企画が盛んに行われています。各地のさまざまな経験や取り組みを共有し、自施設に活かせることは全国規模のネットワークの大きな強みです。

一今後の目標、展望をお聞かせください

現在、医師の働き方改革を進めるなかで、薬剤師へのタスク・シフト/シェアも議論されており、私たちはこの機会を新たな展開へ踏み出すチャンスとして捉えています。新たな展開は人材育成の視点からも、スタッフのさらなる成長にもつながり、これまで以上に病院や地域へ貢献できると考えています。（了）

施設概要

- 所在地：〒891-0141 鹿児島県鹿児島市谷山中央5丁目20番10号
- 病床数：306床（一般226床、回復期リハ40床、地域包括ケア40床）
- 診療科数：24科
- 薬剤師数：15名（2019年4月1日時点）

撮影／日向正樹（tsukada.inc）

もありましたが、徐々にご本人でも投薬管理などができなくなるなかで、そこをどう薬剤師として支えることができるのか、とても考えさせられました。その後、小児科病棟を3年くらい担当しました。そこで、子どもはもちろん、実際に服薬指導をする両親、ご家族との接し方も学びました。子どもはマスクを着けていると怖がって泣くこともあるのでマスクは外して話したり、アンパンマンの小さな人形を胸ポケット

にぶら下げて会いに行ってみたりしていました。

一特にやりがいを感じることはありましたか

後輩たちが入り、実習生も来るので、人に教えることや伝えることの難しさを感じながらも一緒に業務を行う楽しさを感じています。質問されると知らないこともありますから、私にとっても勉強になっています。育成にあたっては、いろいろな業務があるなかで常に優先順位

を考えて、どれを一番最初に行い、次にどうするかを考えて取り組もうと話しています。

一今後の目標をお聞かせください

2020年度から6年目になるので、薬学部長期実務実習の認定実務実習指導薬剤師の資格を取れるようになります。その資格取得が私の目の下の一番の目標と思っています。実務実習などを通して、これからさらに自分も成長していければと考えています。（了）